

企画LIME制作室

新型コロナウイルス スイミングスクール対応レポート

「新型コロナウイルス対応に関するアンケート」2020年4月 株式会社ライム

緊急事態宣言後のスクールの状況

ほとんどのスクールが緊急事態宣言の延長を受けて5/31までは休業。

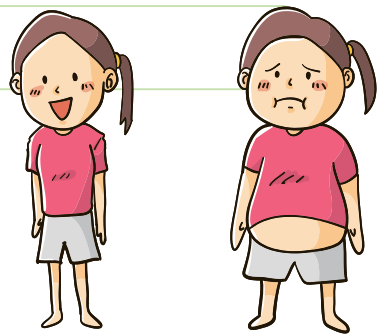
休業に伴い月会費については3月は振替での対応が多く見られたが、緊急事態宣言が出されたことにより4月は返金や休会手続きが増えてきた。休会費免除の対応で退会者を減らす努力をしているスクールは多いが、それでも退会者は増えているのが現状。スクール再開後に、来年3月まで振替期間を設けて対応、日曜日に振替専用コースを設けて対応といった回答も見られた。

また通わせたいと思っている保護者の声

「スクールには落ち着いたらまた通わせたい。」「先生たちも頑張ってください。」などの励ましの声も多いという。今回は、残念ながら退会を選んだけれど、状況が落ち着けばまた通いたいと思っている家庭も多いのではないかな。また、子どもの運動不足に悩んでいる家庭も多い。

子どもたちの運動不足は深刻化？

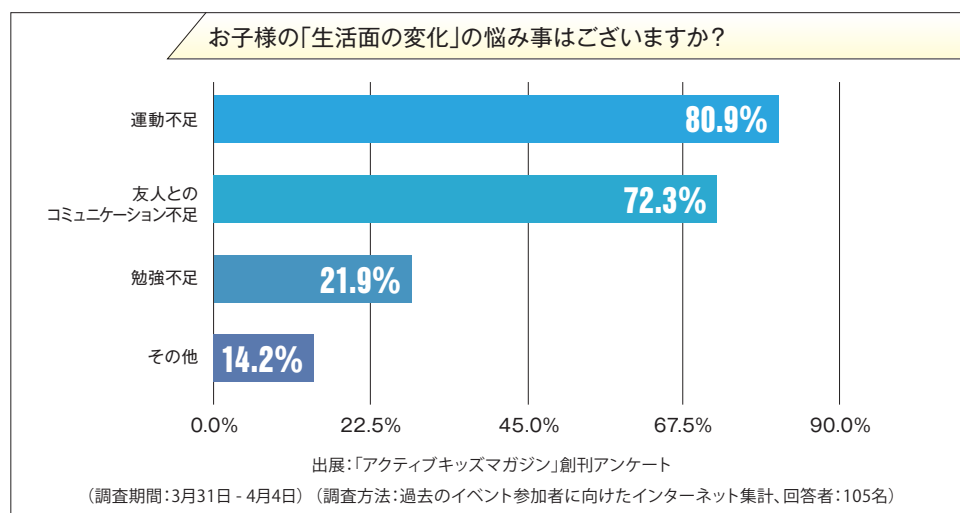
長引く休校と自粛生活の中で子どもたちの運動不足は深刻化している。外で思いっきり体を動かすことができず、家の中で過ごすことが多くなり「この2カ月間で子どもの体型が変わってきた。」という保護者の声も多い。



8割の親が、子どもの「運動不足」に不安を感じると回答

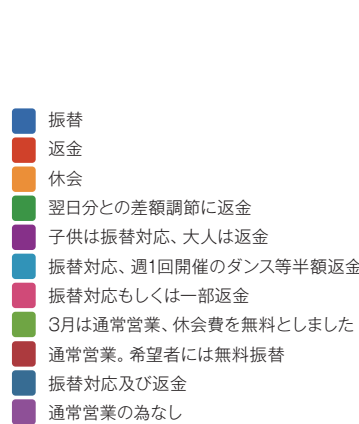
子ども向けイベント「アクティブキッズフェスタ」を主催する一般社団法人bb project「新型コロナウイルス感染症によるお子様の『生活面の変化』についてのアンケート」によると、子どもの生活面における変化についての悩みごとを尋ねたところ「運動不足」が80.9%でトップになり、次いで「友人とのコミュニケーション不足」72.3%、「勉強不足」21.9%という結果になった。

子どもたちの「運動不足」に不安を感じるとの回答が「80.9%」と高い数字に

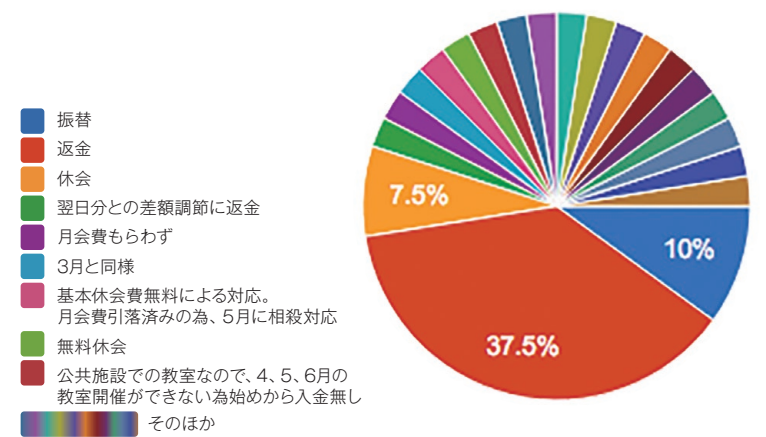


3月・4月の休業等に伴う月会費の対応

3月の対応 [38件の回答]



4月の対応 [40件の回答]



その他 アンケート結果公開中



https://docs.google.com/forms/d/1cljB7KgBkHBU3nQSTtHyv64-HM2xZihiTV0ZEoR_gCs/viewanalytics

小学校の土曜授業、夏休み短縮の可能性も

長引く休校により授業の遅れを取り戻すために土曜日の登校や夏休みの短縮を発表している自治体もある。また、今年は水泳授業の中止も考えられる。夏休みの短期教室に変わる企画を打ち出していく必要がある。土曜日の午後クラスの充実、週末（金・土・日）のクラスや7月・9月の連休を使った短期教室企画、平日も夕方のクラスを充実させる等の工夫が必要になってくる。

スイミングスクールでのコロナウイルス対策

スクールで特に多かった対策を紹介します。

体温測定、消毒、換気、次亜塩素酸水の噴霧による空間除菌

レッスンの変更、時間割の変更

観覧席の閉鎖

バスやロッカー等での人数制限や間隔を開けての利用

まとめ

運動不足に不安を抱えている保護者が多いのは明らかであり、今後学校が再開しても体育などの授業が十分に行われない可能性があると言われています。

また、これから梅雨に入り外遊びも難しくなってしまうでしょう。スイミングは天候にも左右されずに運動ができます。運動不足解消や免疫力アップなどの訴求も必要です。